

SUBARU

2015年7月17日発行 通巻49号札幌稲雲高校図書局



戦争のこと考えたことありますか

1945年8月15日長きにわたって続けられた太平洋戦争が日本の敗戦という形で終結しました。家族や恋人を失った者。家がすべて焼けてしまった者。戦争は当時の人々の心の中に消えることのない傷跡を残してゆきました。復興に向けて歩き出す中で、人々は戦争の記憶を「文学」という形に残しました。終戦から70年がたった今、教科書にも載った二つの作品から戦争を考えてみようと思います。

『1つの花』 今西 祐行

戦争が激しくなり、お腹をすかしていたゆみこは、いつも「ひとつだけちょうだい」と言って食べ物をほしがりました。そんなゆみこにお母さんは、「ひとつだけ。」と言って、自分の分から分けてくれるのでした。ある日、お父さんが出征することになりました。「ひとつだけ」と食べ物をほしがるゆみこ。しかし、おにぎりはすべてすでにゆみこが食べてしまっていました。そんなゆみこにお父さんは「一つだけのお花、だいじにするんだよ。」と言って一輪のコスモスを渡しました。

この作品からは戦時中の親の子供を思う気持ちの深さを感じられます。体が弱かったゆみこの父親ですら戦争に駆り出されてしまうのですから、おそらく戦争の終盤だったのでしょう。その頃になると食糧不足も深刻だったに違いありません。しかしまだ小さいゆみこにはそんなことは分かりません。ゆみこの母親は「ひとつだけちょうだい」と食べ物をねだるゆみこに、いつも自分や父親の分をあげていました。本当はもっと食べさせてあげたいのです。「ひとつだけちょうだい」なんて言わなくていいくらい、おなかいっぱい食べさせてあげたいのです。しかし、食糧不足という現実は変えられません。その時のやるせない気持ちは、とても言葉にできなかったでしょう。

父親が戦争に行ってしまう日に「ひとつだけちょうだい」とぐずりだしたゆみこを母親は「お父ちゃん、兵隊ちゃんになるのですって。ばんざあいて…」とあやします。まるで自分自身に言い聞かせるように。本当は、戦争に行ってしまうのではないのでしょうか。その気持ちを抑えつけるように、母親はゆみこをあやすのです。そして父親がゆみこに与えた一輪のコスモス。寂れた場所に咲いていたそのコスモスは、父親の境遇を表しているのでしょうか。「一つだけのお花、だいじにするんだよ。」とゆみこにコスモスを手渡す父親はゆみこに「ひとつだけの命をだいじにするんだよ。」と言っているように見えます。



『ちいちゃんのかげおくり』 あまん きみこ

お父さんからかげおくりという遊びを覚えてもらったちいちゃんはさっそく、家族みんなで手をつないでかげおくりをしました。その次の日、お父さんは戦争に行ってしまう。戦争が激しくなり、ある夏の朝、空襲で目が覚めました。お母さんとお兄ちゃんと一緒に逃げますが、ちいちゃんとはぐれてしまいます。空襲で焼けてしまった家で一人家族の帰りを待つちいちゃんのもとに、「かげおくりのよくできそうな空だなあ」というお父さんの声が降ってきます。お母さん、お兄ちゃんの声も。それにつられてかげおくりをしようと、体が空に吸い込まれました。空の上の花畑で家族と再会したちいちゃんは、笑いながら家族のもとへ走っていきます。こうして、一人の小さな女の子の命が空に消えてしまいました。

戦争は小さな子供の命さえ奪ってゆきます。私が初めてこのお話を読んだ時は、よく学校でかげおくりをしたものです。その記憶は私の中で楽しいものとして残っています。家族と手を繋いでかげおくりをしたちいちゃんも、とても楽しく、幸せな気分だったことでしょう。

しかし、戦争が激しくなり、空はかげおくりができるようなあたたかな場所ではなくなりました。戦闘機や飛行機が飛び、外にすら満足に出ることができなかつたでしょう。そんななかで、空襲に襲われてしまいます。逃げる途中で家族とはぐれ、一人ぼっちで家族を待っていたちいちゃんの心細さはすぎましかつたでしょう。想像しただけで涙が出そうになります。そして一番悲しいのはやはり、ちいちゃんが空に昇っていくシーンです。「ああ、あたし、おなかがすいて軽くなったから、ういたのね。」「なあんだ。みんな、こんな所にいたから、来なかつたのね」という、ちいちゃんの純粋無垢な言葉に心打たれます。

このように、戦争とは、人々からかけがえのないものを奪う、悲しくて、理不尽で、どうしようもないものなのです。この記憶を、決して風化させてはいけません。しかし私達は普段、戦争のことを考えることはあまりありません。なぜでしょうか。それは私達が、戦争があった時代に生きていないからだと思います。さらに、今まで私達に戦争の悲惨さを伝え、語り継いで下さった方々が高齢になり、戦争を知らない私達世代に伝わりにくいといった問題も出てきています。

しかし、だからこそ、私達は戦争のことを忘れてはいけません。戦争について書かれた文学作品はたくさんあります。その作品にふれることで、皆さんの心の中に戦争の記憶をのこし、語り継いでいってほしいと思います。

戦争展

太平洋戦争に関する資料を展示しています。どんな戦争だったのか。そして300万人以上もの尊い命はなぜ奪われたのか。私たちは戦争のことを知らなければならぬと思います。



図書室

日本のアニメーションムービー



日本だけでなくいまや世界中でアニメーションムービーが大人気です。アニメは日本の経済効果を高めるだけでなく、海外へ日本の文化への理解を深めることにも役立っています。

そんな中、7月11日に細田守監督の「バケモノの子」が公開されました。そこで今回は細田守監督について特集したいと思います。

細田監督は代表作に「時をかける少女」「サマーウォーズ」「おおかみこどもの雨と雪」があります。また、大人気アニメ「ONE PIECE THE MOVIE オマツリ男爵と秘密の島」もてがけています。日本アカデミー賞アニメシー

ョン作品賞を受賞するなど、日本のアニメーション業界に欠かせない人物です。そんな監督の作品は現実にはありえないような独特の世界観ですが、どこか納得できてしまう作風が多く、透き通るような美しさと儚さを持っています。監督自身で映画の脚本に多くの意見を出し、自分で脚本を全体的に書き直してしまうほど作品にこだわりをもっていらっしゃいます。そのこだわりが、素晴らしい作品たちを生み出し、日本のアニメ業界を引っ張ってくれているのでしょう。そんな細田監督の最新作、「バケモノの子」を是非一度見て、細田監督ワールドに入り込んでみてはいかがでしょうか。

古本市大盛況!

10・11日と行われた学校祭で図書局は恒例の古本市を開きました。最近の本もたくさんあり、みなさんに喜んでもらったのではないかと思います。

また今回は、図書局員が一針一針心を込めて作ったシュシュも販売。「可愛い!」と大好評でした。

古本を寄付してくださった先生方、生徒のみなさん、ご協力ありがとうございました。

図書室の本で手作りチャレンジ



『ふんわりシュシュ』高橋恵美子著 日東書院



局員のおススメ本

『黄色いバスの奇跡』

十勝バスの再生物語

吉田理宏 著
綜合法令出版



これは帯広市に実在する「十勝バス」が倒産の危機を乗り越え、再生していくお話です。

‘このままじゃ会社が潰れてしまう。’という現状にぶつかってしまった文吾は先輩である長原に「変わらなければならないのは従業員ではなくお前の方だろ! もっと一緒に働いてくれる人のことを愛せよ!」と言われました。この一言で従業員のことを考え始めた文吾は彼らに支えられていることに気がきます。

大切ことを忘れていた一。文吾が感謝と愛する心が変わったとき、従業員の心が変わり、その心は地域の人たちの心を変え、十勝バスは再生への道を歩き始めます。

人として大切なのは愛だと改めて強く感じさせてくれるお話です。

お知らせ

夏休みの長期貸出しを行っています。

☆一人7冊まで

☆ 返却期限は8月21日(金)

※ビデオ、コミックは貸出しできません。

夏休みはやっぱり読書でしょ!



新着本

- 歴史 『戦国大名と読書』 小和田哲男
- 社会科学 『データで読む平成期の家族問題』 四半世紀で昭和とどう変わったか』 湯沢雍彦
『社会への出かた 就職・学び・自分さがし』 白井利明
『命の授業 子どもたちに命の大切さを語り継ぐ』 おかやま犯罪被害者サポート・ファミリーズ編
- 自然科学 『数学マニアック 1~200の数に秘められたおもしろトリビア』 デリック・ニーダーマン
『ペンギンが教えてくれた物理のはなし』 渡辺佑基
- 技術 『メガ! 巨大技術の現場へ、ゴー』 成毛眞
『世界でいちばん貧しい大統領のスピーチ』 さばよしみ編
『フランス人は10着しか服を持たない パリで学んだ”暮らしの質”を高める秘訣』 ジェニファー・L・スコット
- 芸術 『錦織圭 マイケル・チャンに学んだ勝者の思考』 児玉光雄
- 文学 『冷蔵庫を抱きしめて』 荻原浩
『東京バンドワゴン9 オール*ユー*ニード*イズ*ラブ』 小路幸也
『ドラゴン・オプション』 中原清一郎
『神様のカルテ 4』 夏川草介
『ラプラスの魔女』 東野圭吾
『火花』 又吉直樹
『過ぎ去りし王国の城』 宮部みゆき
『希望の海へ』 マイケル・モーパーゴ

校庭の生き物

カミキリ虫 出没

カミキリムシが稲雲高校周辺に多数生息しているのをご存知でしょうか。

カミキリムシは名前の通り、大顎が発達しているために噛み切る力がとても強いそうです。どれぐらい強いかというと、出血するぐらい痛いらしいので、触れるときは注意してください。

固い殻に覆われていますが、鳥などに攻撃された時に反撃する武器を持っていません。そのため、目立たぬように体の色を樹皮や枯れ葉に似せてカムフラージュしたり、蜂の体に形や色を似せて、敵から攻撃されないように身を守っていたりします。

他にも色々な特徴がありますので、登下校の際にでも機会があれば観察してみるといいと思います。

ちなみに、カミキリムシは食べられます!



ウスバカミキリ

局員の日常

夏本番! この暑さに稲雲でもすでに熱中症の人が何人か出ているそうです。「自分だけは大丈夫」とは思わずに、こまめに水分補給をして下さい。健康管理には気をつけましょう。

